子どもたちを取り巻く教育課題や現代的課題に対応

ネイパル砂川

チャレンジキャンプ

1　事業のねらい

学校生活に悩みを持つ児童・生徒が挑戦型の活動や自然体験等をとおして、自分と向き合い、同時に周囲との関係について学ぶ機会とする。

2　事業の概要

■期日　R６.９.19(木)～20 日(金)　一泊二日
■対象　小学５年生から中学３年生　引率者
■人数　７名（中学生６名　引率１名）
■場所　北海道立青少年体験活動支援施設ネイパル砂川

3　プログラム

	14:00				17:00	17:45	19:00		20:00	22:00
1日目	集合場所：e-sports STADIUM SUNAGAWA（砂川市西３条北 1-1-18） 受　　付：14:00～14:10			受付	出会いのつどい	eスポーツチャレンジ	移動	夕食	キャンプファイヤー	入浴・自由	就寝
6:30	7:30	9:00		13:00						
2日目	起床・清掃	朝食	カレーづくり	別れのつどい	解散時刻：13:00					

4　ねらいを達成するための活動の工夫

■徐々にハードルが高くなる流れ
　取り掛かりやすいｅスポーツからはじまり、キャンプファイヤーで歌ったり焼きマシュマロを作ったり、最後は薪割りや火おこし、野外炊飯と、挑戦や周囲との関係作りのハードルが上がる流れで行った。
■昼夜の野外活動
　始めの活動はｅスポーツとしたが、キャンプファイヤー、野外炊飯と昼夜の自然の中での活動を体験できるようにした。

夜の野外活動
キャンプファイヤー

昼の野外活動
カレーづくり（野外炊飯）

5　事業の評価

自己認識に関するアンケートの集計結果（各質問項目は6点満点で参加者全員の平均数値）

	質問項目	事前	事後	変化
1	**自分に自信を持っている。**	**2.8**	**3.5**	**0.7**
2	**自分は色々な人たちに助けられながら生きていると思う。**	**4.7**	**5.3**	**0.7**
3	友達の考えをよく聞くほうである。	4.3	4.5	0.2
4	困っている友達を、助けるほうである。	4.2	4.6	0.4
5	人の役に立つことをしたいと思っている。	4.5	4.3	-0.2
6	**がんばれば、できないこともできるようになると思う。**	**4.5**	**5.3**	**0.8**
7	何にでも興味を持つことが多い。	4.5	4.3	-0.2

■自己概念アンケート集計結果から
・項目１で 0.7 ポイント、項目８で 0.8 ポイントの上昇が見られた。躊躇しがちな人前で歌うこともキャンプファイヤーで歌うことができたり、ファイヤースターターでの点火を成功させたり、成功体験をさせられたことが要因と考える。
・項目２で 0.7 ポイントの上昇がみられた。作業を分担したり、協力し合ったりする活動の成果と考える。

6　ねらいを踏まえた成果と課題

●参加者は一つの適応指導教室のみであったが、５名の学生ボランティアの参加により普段顔を合わせていない人との関係作りを体験させることができた。
○参加者同士で普段顔を合わせていない人との関係作りの機会になるように考え、参加者のすそ野を広げようとｅスポーツをプログラムに入れてみたが、個人申込は０であり個人申込は期待しにくい。複数の適応指導教室やフリースクール等と連携の方向を検討したい。

企画のポイント

日常を離れての自然体験や宿泊体験の中での挑戦することや周囲との関係について学ぶ。